

Mothers

証券コード

3773



株式会社アドバンスト・メディア

平成25年3月期 決算説明会資料

平成25年5月14日

＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。

その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

業績の概況 (平成25年 3 月期)

取締役 経営管理部長
立松 克己

1-1. 連結損益計算書

4

単位：百万円

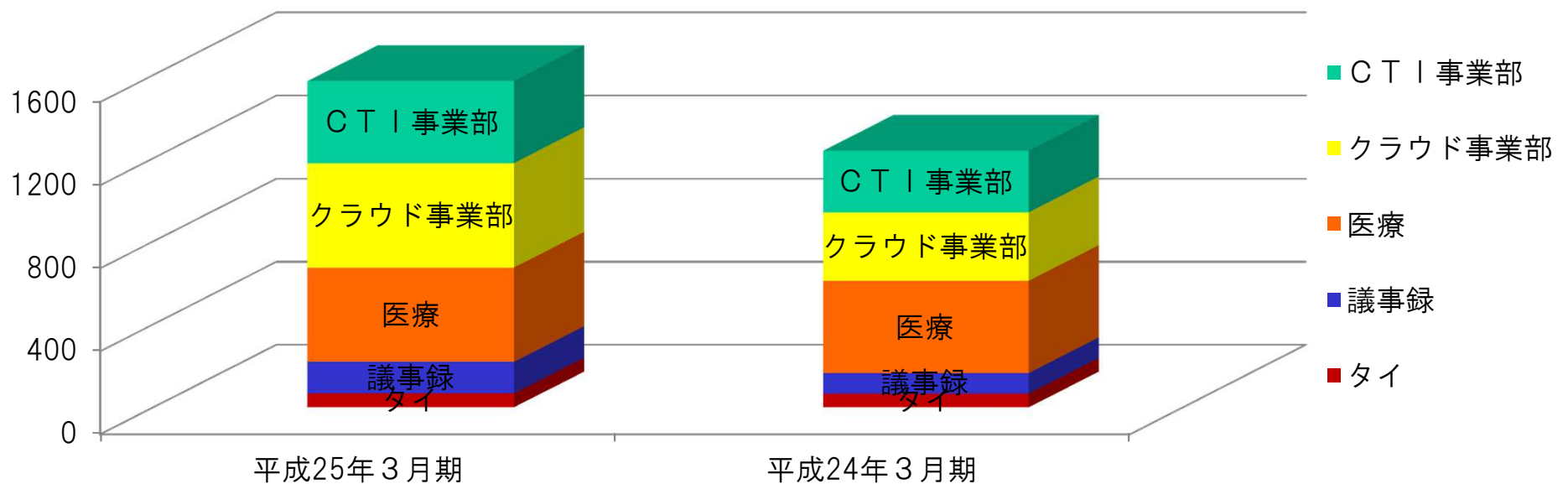
	平成25年3月期		平成24年3月期		対前年増減		主な要因
					金額	比率	
売上高	1,573	100.0%	1,239	100.0%	334	27.0%	モバイル分野のライセンス収入の増加
原価	552	35.0%	468	37.8%	84	17.9%	マイク等の仕入れ単価の低減およびライセンス収入の増大
売上総利益	1,020	64.8%	770	62.1%	250	32.5%	マイク等の仕入れ単価の低減及びライセンス収入の増大
販売管理費	1,035	65.7%	1,060	85.6%	△25	△2.4%	各項目の細かなコスト削減
営業利益	△14	-0.8%	△290	-23.4%	304	-	売上高の伸長及び粗利益率の向上
経常利益	255	16.2%	△250	-20.2%	505	-	米ドル預金等の円安による為替差益
当期純利益	836	53.1%	1,646	132.8%	△810	△49.2%	投資有価証券売却益

1-2. 分野別の売上実績

5

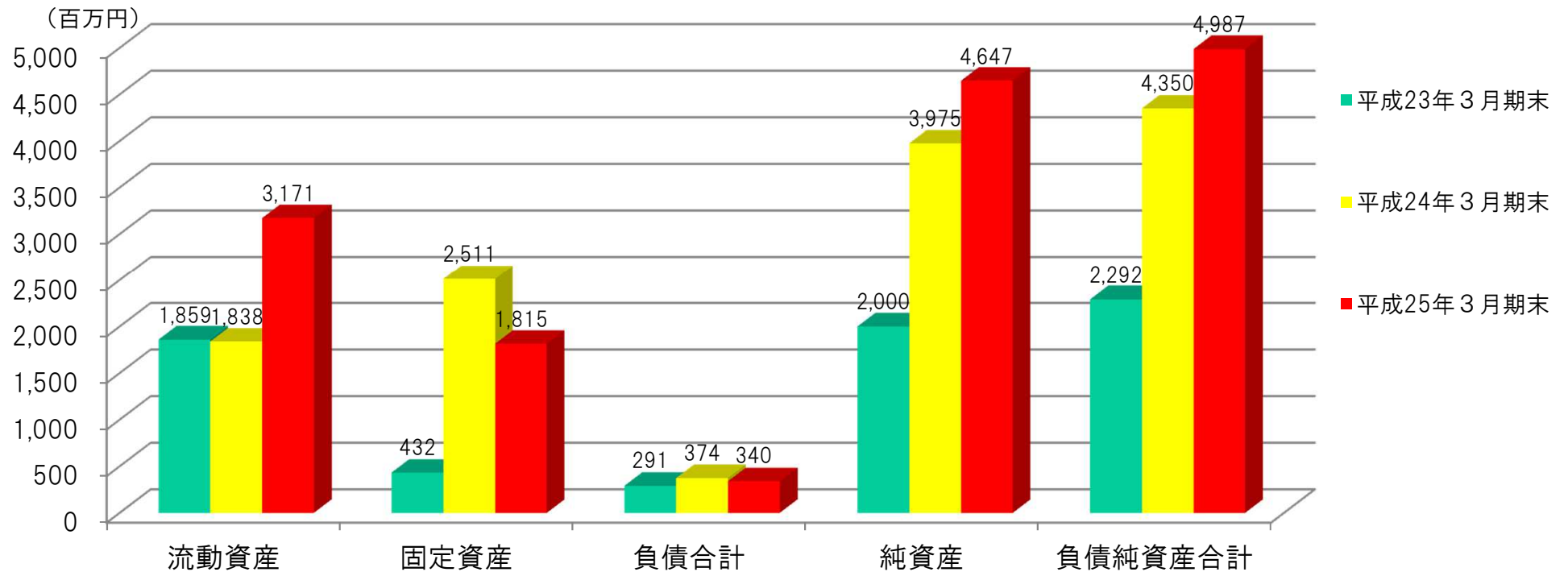
単位：百万円

	平成25年3月期		平成24年3月期		対前年増減	
					金額	比率
CTI事業部	395	25.1%	296	23.9%	99	25.0%
クラウド事業部	503	32.0%	330	26.6%	200	39.7%
医療	455	28.9%	445	35.9%	10	2.1%
議事録	152	9.7%	99	8.0%	53	34.8%
タイ（連結子会社）	67	4.3%	66	5.3%	1	1.4%
合計	1,573	100.0%	1,239	100%	334	21.2%



1-3. 連結貸借対照表

6

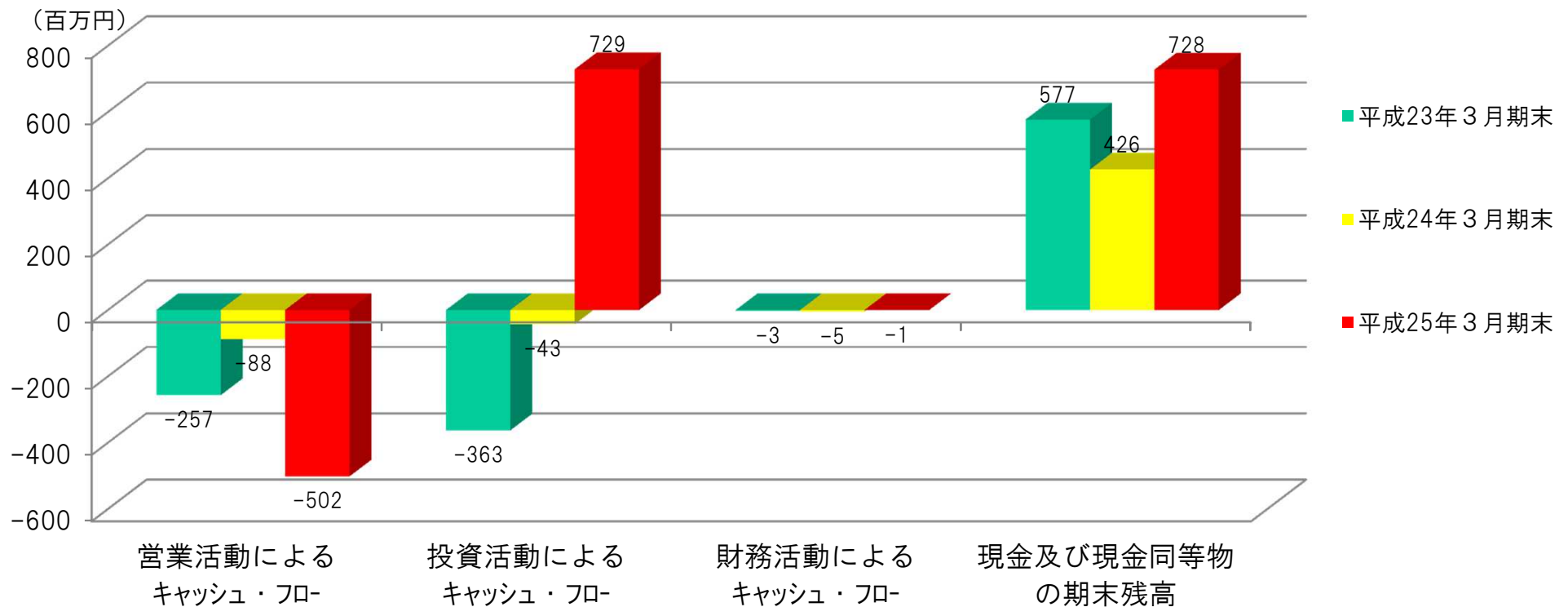


増減の要因

- 流動資産：現金及び預金の増加 1,241百万円
- 固定資産：投資有価証券の減少 △890百万円、
- 純資産：利益剰余金のマイナスが減少 836百万円

1-4. キャッシュフロー計算書

7



増減の要因

- 営業活動：税引前当期純利益915百万円に対し、投資有価証券売却益△734百万円、長期前払費用の増加△339百万円、為替差益△241百万円、売上債権の増加△197百万円
- 投資活動：投資有価証券の売却収入 1,773百万円、関係会社株式の売却収入 370百万円、定期預金の払戻 600百万円、定期預金の預入 △1,396百万円、投資有価証券の取得 △608百万円

1-5. 新株予約権付社債及び新株予約権の発行

8

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債

(1)	払込期日	平成25年5月27日
(2)	新株予約権の総数	43個
(3)	社債及び新株予約権の発行価額	各本社債の発行価額は35,000,000円（額面100円につき金100円）
(4)	当該発行による潜在株式数	12,863株
(5)	資金調達の額	1,505,000,000円
(6)	行使価額	117,000円
(7)	割当先	ウイス・アジア・エホリユ-ション・ファンド投資事業有限責任組合

第3回新株予約権

(1)	割当日	平成25年5月27日
(2)	新株予約権の総数	90個
(3)	発行価額	42,840,000円（新株予約権1個につき476,000円）
(4)	当該発行による潜在株式数	25,200株
(5)	資金調達の額	4,528,440,000円
(6)	行使価額	178,000円
(7)	割当先	ウイス・アジア・エホリユ-ション・ファンド投資事業有限責任組合

1-6. 調達する資金の使途

9

調達する資金の額

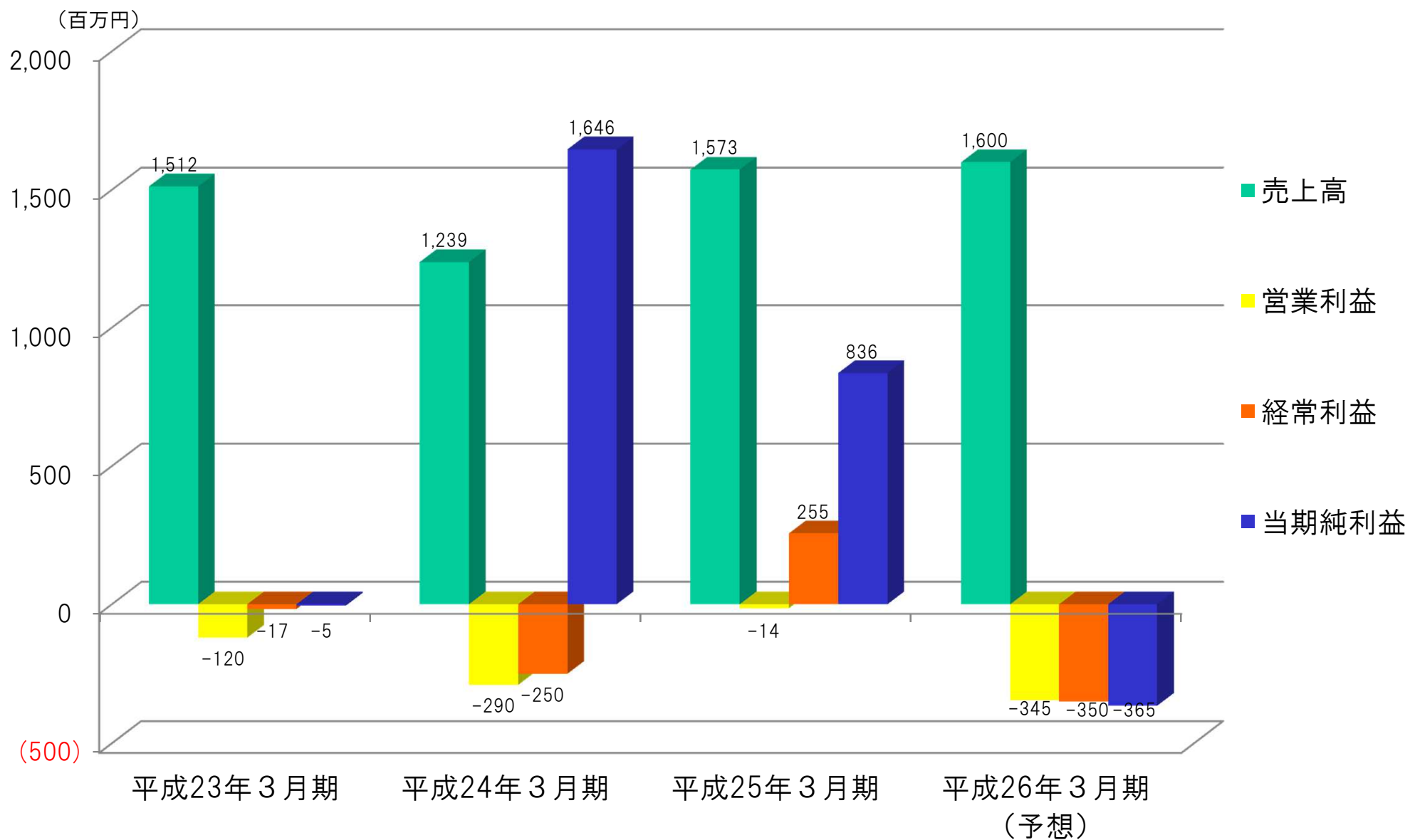
(1)	払込金額の総額	6,033百万円
(2)	発行諸費用の概算額	30百万円
	差引手取額の概算	6,003百万円

調達する資金の使途（予定時期：平成25年6月から平成29年5月）

(1)	音声認識精度向上のための研究開発投資	300百万円
(2)	多様なアプリケーション開発を可能にするための 周辺技術への開発投資	250百万円
(3)	国内・海外での事業展開を加速させるための協業 先の発掘	5,103百万円
(4)	多言語での音声認識を実現するための研究開発投 資	350百万円
	合計	6,003百万円

1-7. 業績の推移および今期計画

10



事業概況

(平成25年 3 月期)

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

2-1. 市場化の現状

12

AmiVoice®は着実にライセンス数が増加し、一般消費者、企業で実用化が加速している

※2013年3月末現在



4,280ユーザ以上導入
累計 14,254ライセンス

- 放射線／病理画像レポート
- 電子カルテ向け音声入力
 - ・大病院
 - ・診療所
 - ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成



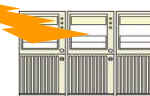
- 次世代コールセンタソリューション
 - ・オペレータ支援
 - ・モニタリング
 - ・通話録音書起こし
 - ・注意事項説明
 - ・IVR



- データ入出力、記録
 - ・作業報告、日報
 - ・点検、設備診断
- 顧客対応
 - ・電話番号自動案内（内外線）
 - ・受付案内

金融・産業ユーザ 393社以上
累計 9,415ライセンス

- 声紋認証
- コンプライアンス対応
- 株主総会支援等



モバイル

- 携帯DSRの一般消費者向けモバイルサービス
 - ・音声認識メールクラウド
 - ・音声検索(Yahoo)
 - ・音声認識ブラウザ
 - ・各種ゲーム
- 携帯DSRの企業向けモバイルアプリ・サービス、SDKの提供

議事録

- 議会議事録作成
- 講義、講演録作成

自治体・民間、累計90施設
累計 468ライセンス

医療

コールセンタ

Advanced Media, Inc.

ビジネス
ソリューション

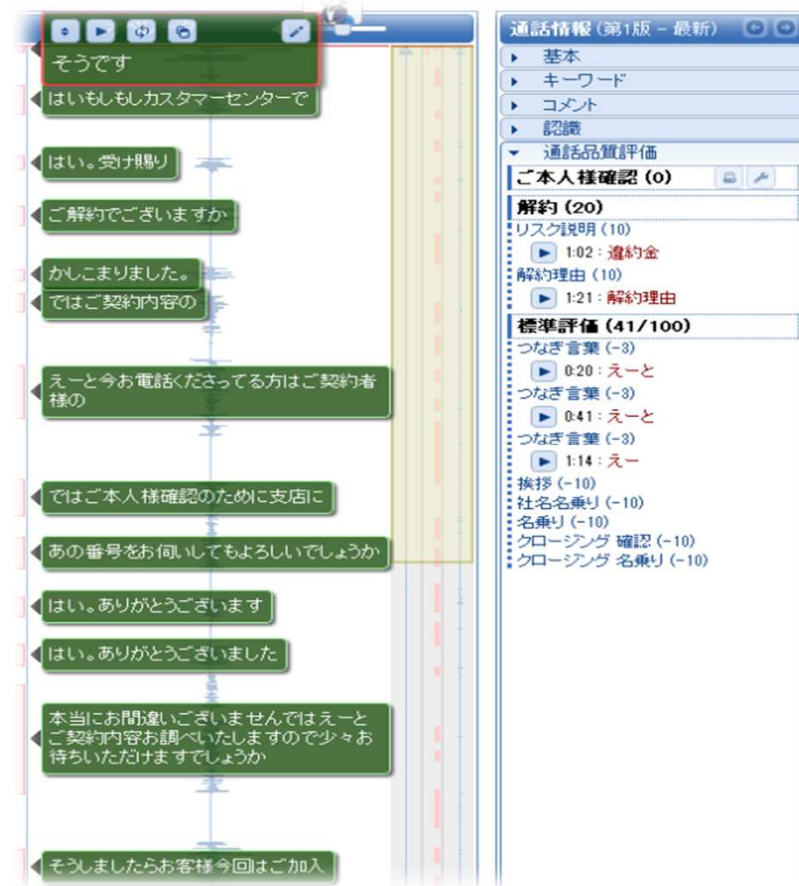
教育/
エンタテインメント
/ゲーム

- 発音評価・矯正
(英語、日本語)
- 高校・大学297施設以上



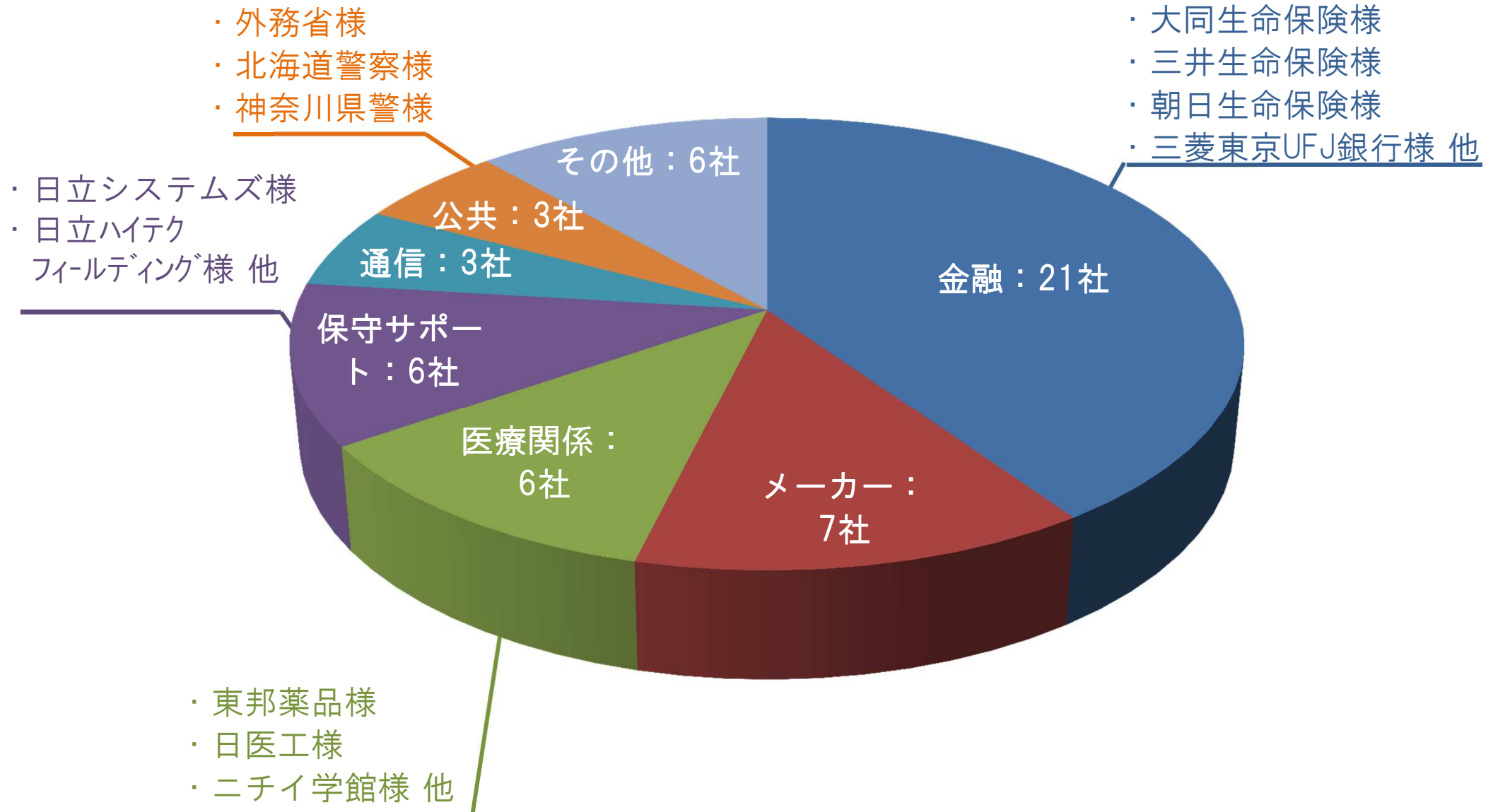
- **AmiVoice®**コールセンターソリューションの導入実績を52社に伸ばす。
- クラウド型音声認識サービス開始し、中小規模コールセンターでも、初期費用を抑えて、安価かつ手軽に利用可能。

- コールセンター向け音声認識システム『**AmiVoice® Communication Suite**』に業界初新機能「通話品質評価機能」を搭載。オペレーターの応対品質を自動評価し、応対品質向上と教育コスト削減を実現。



◆コールセンターへの導入実績 52社

(2013年3月末現在)



- スマートフォン、タブレット端末などに、初期費用を抑えかつ容易に音声認識機能を組み込みを可能にした企業向けクラウドサービス「**AmiVoice® Cloud**」を本格販売

音声インターフェイスをクラウドサービスで！



- 株式会社バンダイ様『スマートペット』に当社音声認識技術**AmiVoice®**が採用

iPhoneが顔の
次世代ペットロボット



- KDDI株式会社「おはなしアシスタント」に当社音声認識技術**AmiVoice®**が採用



- 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 2012冬モデルスマートフォンAQUOS PHONE ZETA SH-02E（シャープ製）等に当社音声認識技術**AmiVoice®**が採用

①音声認識モード切替え



②声の判別によるロック解除



③ランチャー機能によるアプリ起動



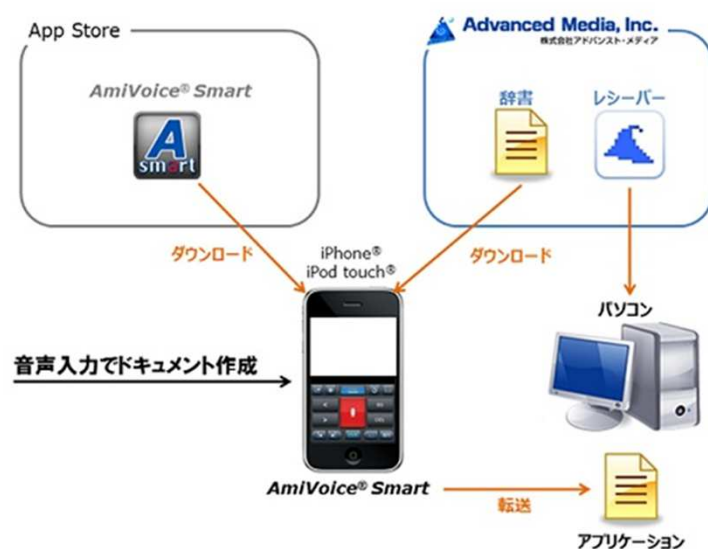
④音声認識によるカメラ操作



医療分野

- 調剤薬局向けおよび放射線科向け製品の販売が好調に推移に推移
- 精神科向け音声入力システム
「**AmiVoice® Ex7 MentalCare**」の販売開始
- スマートフォンやタブレット端末などを活用し、いつでもどこでも場所を選ばずに音声認識によるテキスト作成が可能な放射線科専門医向け「**AmiVoice® Smart for Radiology**」のサービスを開始

「AmiVoice® Smart for Radiology」サービスの構成図



議事録分野

- ASP化による月額課金モデルによる導入が増え

中央省庁・地方自治体向けに20件

民間向け5件

累計での納入実績を90件に伸ばす



医療分野での導入実績 4,280 施設以上

(2013年3月末現在)

AmiVoice® Ex7 Clinic / Hospital

- ・各診療科で使用する医療用語に特化した辞書を搭載。
- ・医療用語以外の一般的な用語にも対応。
- ・紹介状、看護記録、所見入力に対応。
- ・ドクターだけでなく看護師の作業効率もアップ。
- ・メーカーを問わず、各種電子カルテに対応。



写真協力: 星川内科外科クリニック様

導入実績 1,260 施設以上

AmiVoice® Ex7 Pharmacy

- ・服薬指導、薬品名など調剤薬局で使用する用語に特化した辞書を搭載。
(標準薬品名: MEDIS-DC公開薬品名準拠)。
- ・漢方薬にも対応。
- ・メーカーを問わず、各種薬歴システムに対応。



導入実績 1,590 施設以上

プロフェッショナルシリーズ

AmiVoice® Ex7 Opht

(眼科電子カルテ用)

AmiVoice® Ex7 Orthopaedic

(電子カルテ用 整形外科特化モデル)

AmiVoice® Ex7 Endoscope

(内視鏡レポート用)



AmiVoice® Ex7 Rad

- ・単純X線撮影/CT/MRI/血管造影の用語に特化した辞書を搭載。
- ・認識したテキストと音声ファイルの併用により、トランスクリバターの作業効率もアップ。
- ・メーカーを問わず、各種読影レポートシステムに対応。

導入実績 980 施設以上



その他、他製品でも導入実績多数あり

AmiVoice® Ex7 Path

(病理レポート用)

AmiVoice® Ex7 MedMail

(医療メール・論文用)

AmiVoice® Ex7 Dental

(歯科電子カルテ用)

AmiVoice® Ex7 DentRad

(歯科放射線科読影レポート用)

AmiVoice® Ex7 Rehabili **新製品!**

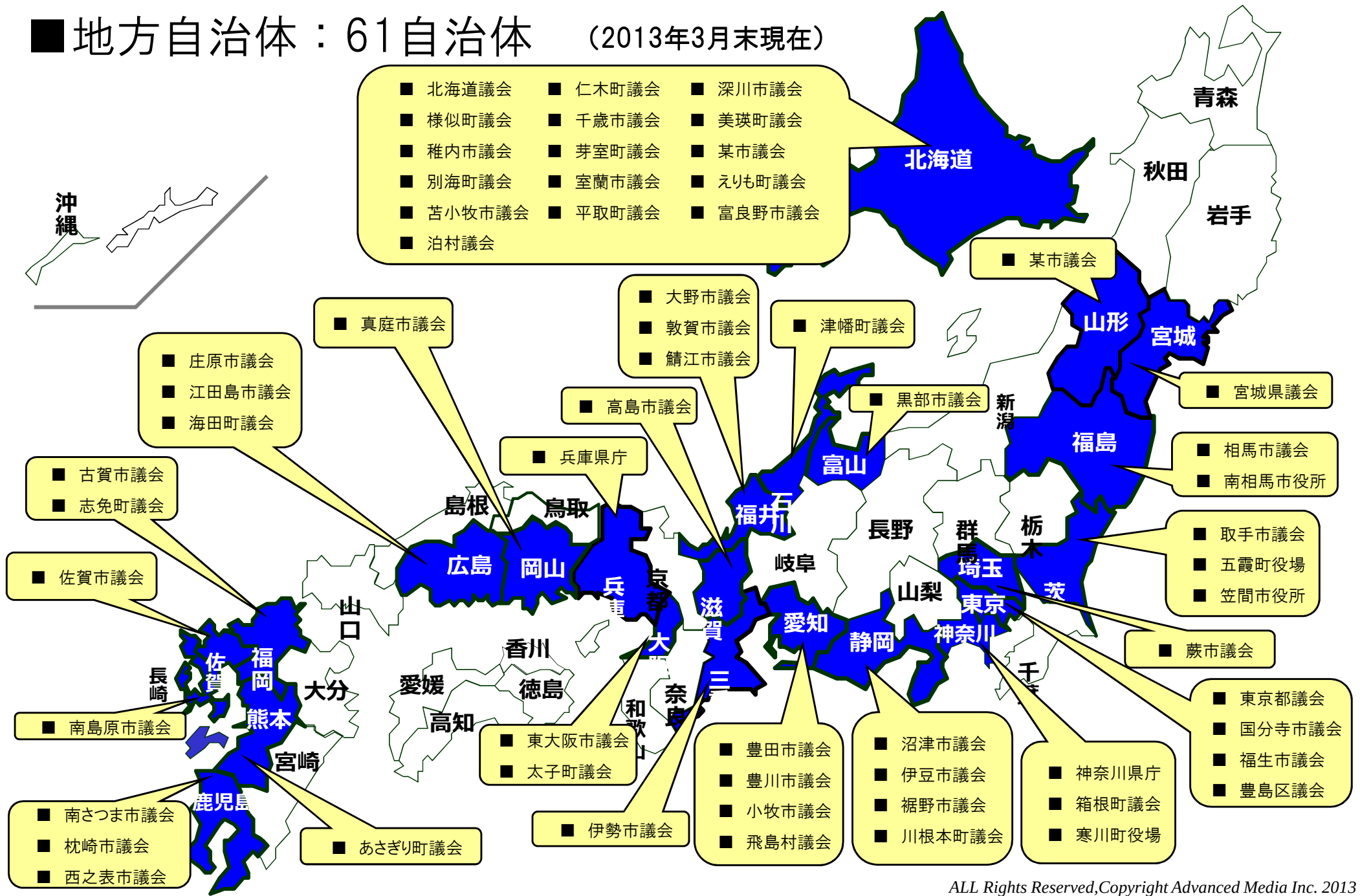
(リハビリテーション用)



議事録作成支援システム導入実績①

18

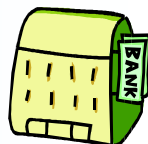
■ 地方自治体：61自治体 (2013年3月末現在)



■ 民間企業・中央官庁・独立行政法人：28団体 (2013年3月末現在)

民間・金融系等 18団体

東京証券取引所
地方銀行 2団体
湘南信用金庫等 信用金庫 3団体
福島県民共済生活協同組合
株式会社ジェーシービー
日本ユニシス株式会社
東海旅客鉄道株式会社 など



中央省庁・独立行政法人 1団体

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)



JA 2団体

JAとぴあ浜松
JA福井市



医療系 5団体

広島県医師会
自治医科大学付属病院
東海大学医学部法医学教室
埼玉県浦和医師会
国立大学法人山口大学



大学・大学講義 2団体

筑波技術大学 (講義内容表示)
某私立大学



ボイスデータサービス (VDS) の導入

溢れる声をデータにするサービス事業

- 議事録分野でASP化による月額課金モデルの導入
- 医療分野でスマートフォンやタブレット端末などを活用し、いつでもどこでも場所を選ばずに音声認識によるテキスト作成が可能な放射線科専門医向け「**AmiVoice® Smart for Radiology**」のサービスを開始
- CTI分野で中小規模コールセンターでも、初期費用を抑えて、安価かつ手軽に利用可能なクラウド型音声認識サービス開始

ボイスアクティベーションサービス (VAS) の導入

声が価値を生み出すサービス事業

- KDDI株式会社「おはなしアシスタント」に当社音声認識技術**AmiVoice®**が採用
- iPhone向けアプリとして、バーチャルキャラクター「AOI」と対話を通して情報検索を行うアプリケーション「**AOI Browser**」を配信



今後の見通し (平成26年3月期)

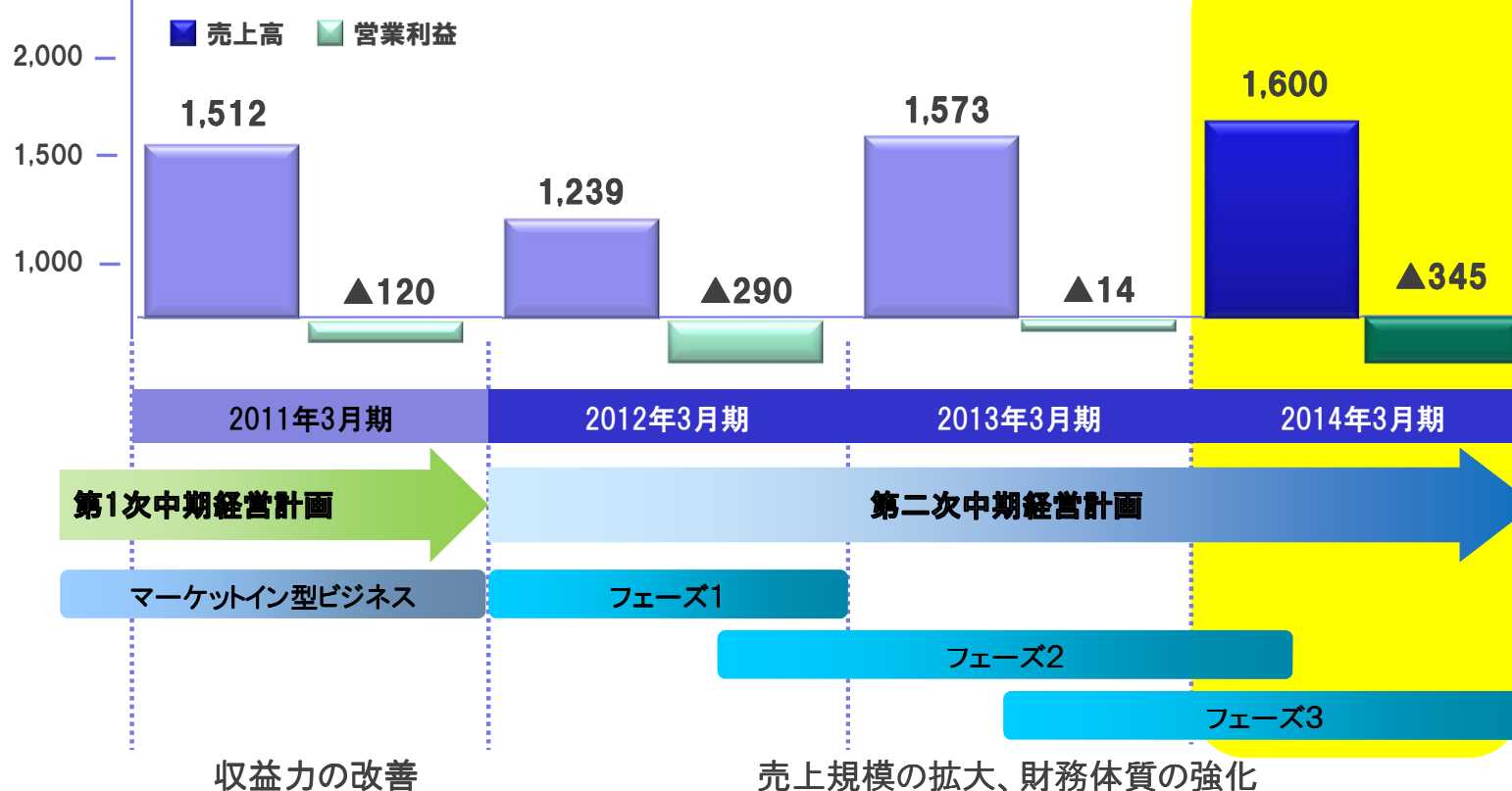
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

3-1. 今期の経営目標数値（ボトムライン）

22

P/L計画

連結売上高（百万円）



音声認識技術の市場は広がっているものの、市場創造を行いながら売上増大を目指すため、**保守的な売上予想**

営業損失の増大は、**積極的な研究開発投資**による一般管理費の増大

	2011年3月期 (連結実績)	2012年3月期 (連結実績)	2013年3月期 (連結実績想)	2014年3月期 (予想)
売上高(成長率)	1,512 (ー)	1,239 (-18.1%)	1,573 (26.9%)	1,600 (1.7%)
営業利益	▲120 (ー)	▲290 (ー)	▲14 (ー)	▲345 (ー)
経常利益	▲17 (ー)	▲250 (ー)	255 (ー)	▲350 (ー)

3-2. 今期予想数字（従来の考え方との違い）

23

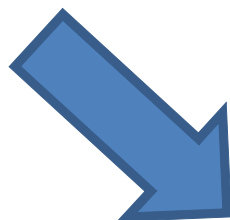
成長のための資金を獲得できたことにより、積極的な研究開発投資を実施し、中期的な売上増大を目指す

2013年3月期

	実績
売上	1,573
営業利益	-14
経常利益	255

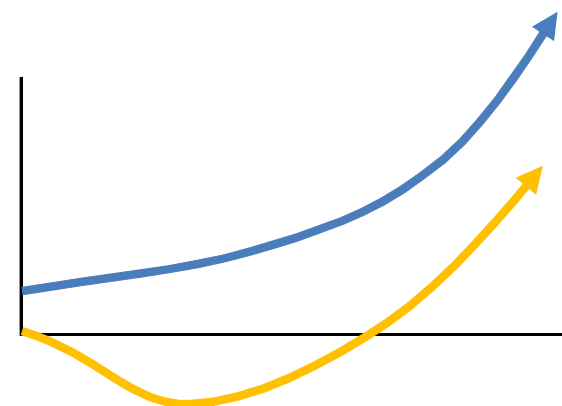
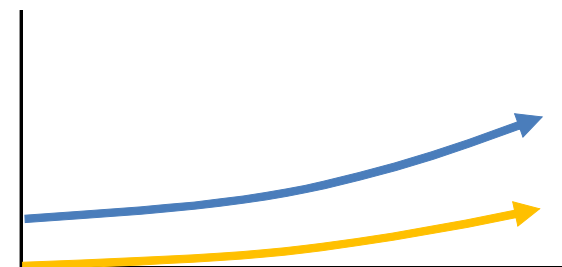
2014年3月期計画

	元々の計画
売上	増収
営業利益	黒字
経常利益	黒字



	Whiz出資を受けた 今後の成長戦略
売上	1,600(ボトムライン)
営業利益	赤字
経常利益	赤字

将来の売上・利益イメージ



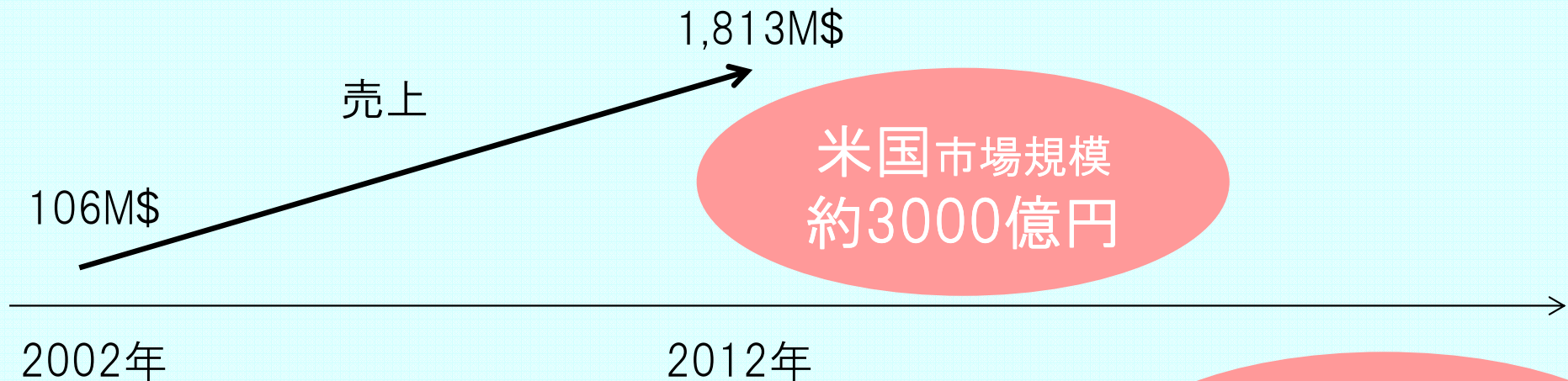
※開示の計画値は**ボトムライン**

3-3. 今期の挑戦

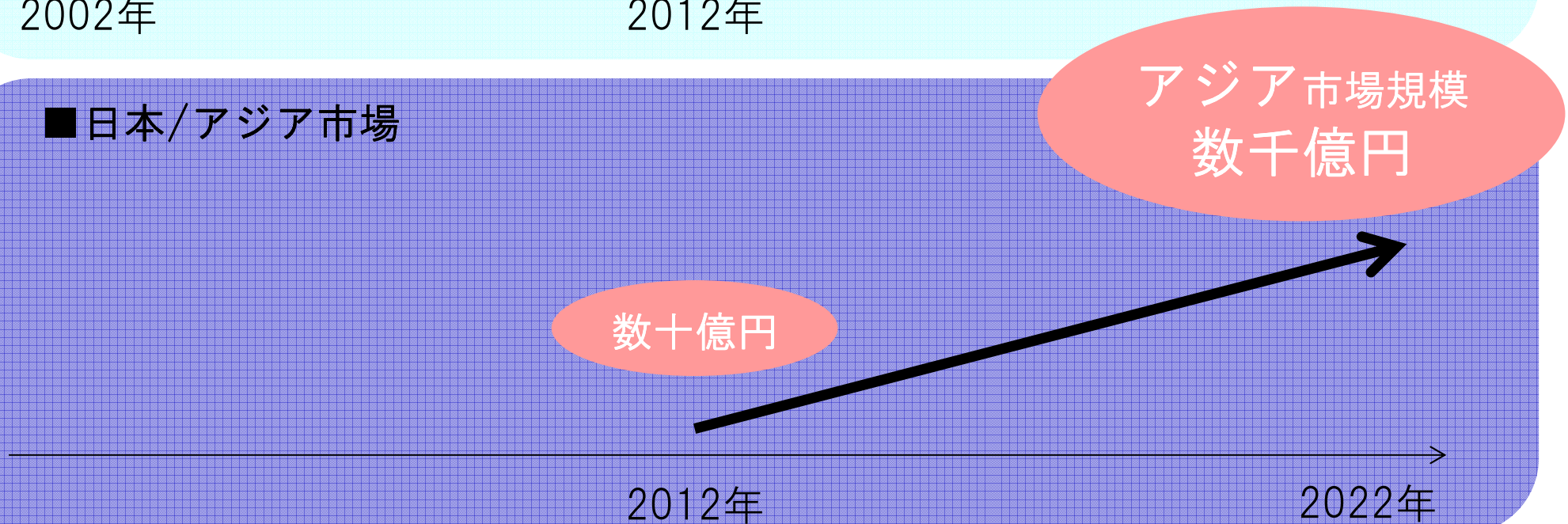
24

売上規模の増大へ向かって踏み出す！

■米国市場（代表的な音声認識企業 Nuance社を例に）



■日本/アジア市場



3-4. 売上増大の施策（M&A & 研究開発）

25



Advanced Media, Inc.



国内

グローバル

ビジネス対象マーケットの拡大

資金投入

- 多言語対応の研究開発投資
- 国内外での事業加速化のためのM&A

対象先: ①アプリケーション

②顧客ベース

③開発リソース

当社の現状認識

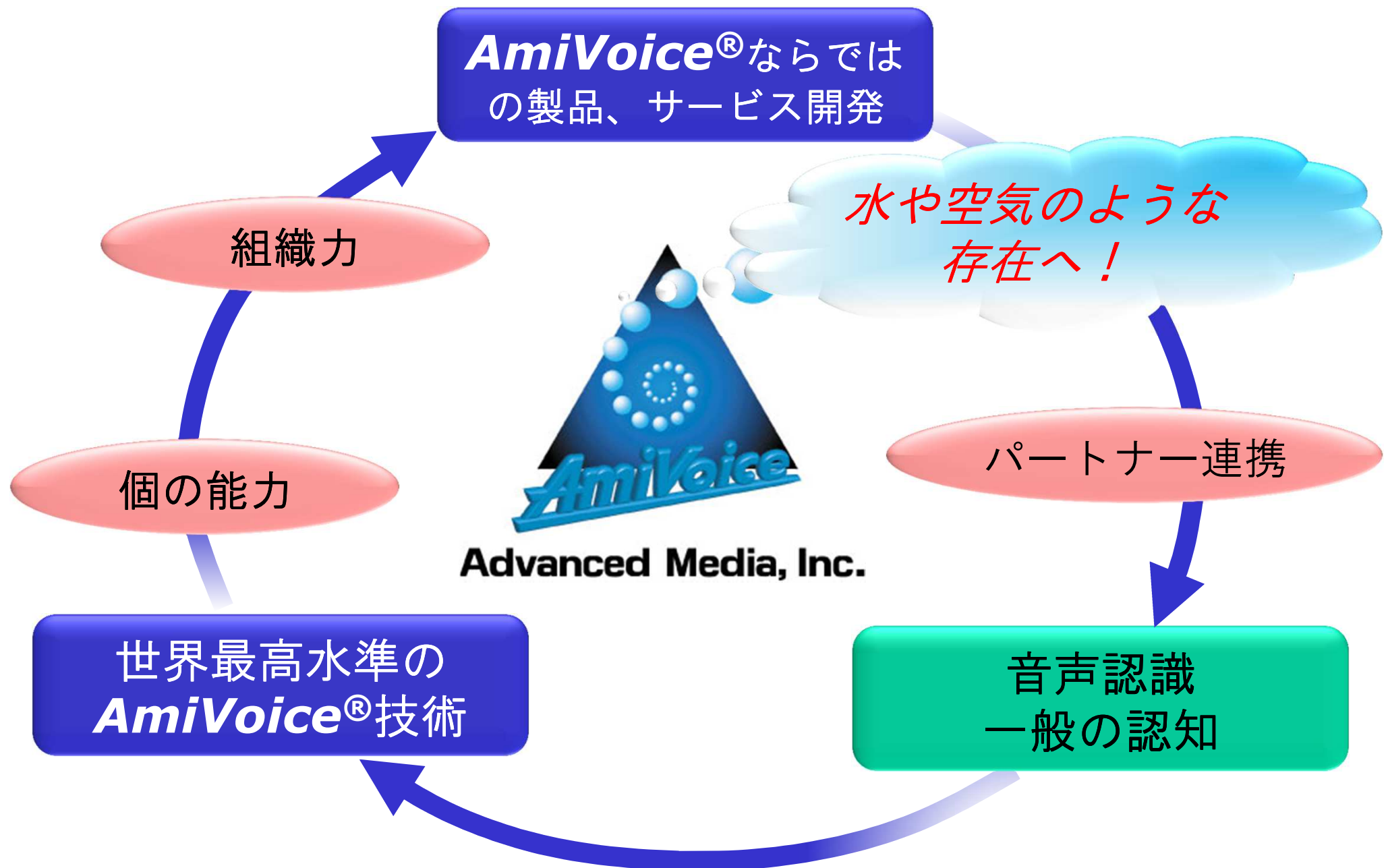
- スマートフォン・タブレット端末と音声認識技術の相性の良さから活用範囲が拡大している。
- 世界経済の拡大・発展をリードするアジア市場で音声認識技術の活用範囲が拡大する。
- 新機軸サービスの市場導入/普及の加速が必要である。

当社の対応

- 音声認識精度のさらなる向上のために今まで以上に積極的な研究開発投資を実施。
- 多言語（英語とアジア系言語）の音声認識技術研究開発投資を実施。アジア展開を加速させる協業連携。
- 新機軸サービスの開発投資を実施。市場導入/普及を加速させる協業連携。

調達する資金の使途（予定時期：平成25年6月から平成29年5月）

(1)	音声認識精度向上のための研究開発投資	300百万円
(2)	多様なアプリケーション開発を可能にするための周辺技術への開発投資	250百万円
(3)	国内・海外での事業展開を加速させる協業連携（発掘・M&A）	5,103百万円
(4)	多言語での音声認識を実現するための研究開発投資	350百万円
合計		6,003百万円



◆ウィズ・アジア・エボリューション・ファンドについて

- ・世界最高レベルの高度な技術や質の高いサービス・製品を持つ日本企業が投資対象
- ・積極的に海外展開を進める日本企業にまとまった事業資金を提供
- ・日本国内および海外で経営資源とネットワークを活かした徹底的なハンズオン支援を行う

◆運用チームメンバー/アドバイザー/ボードメンバー（一部）



安東 俊夫
松村 淳
飯野 智

代表取締役社長CEO、前 日本証券業協会会長
代表取締役副社長COO、ナノキャリア社外取締役
シニア・マネージング・ダイレクター、ナノキャリアおよびジーンテクノサイエンス社外取締役

尾崎 英外
川上 徹也
平野 英治
江尻 隆

元トヨタ自動車(株) 取締役(CFO)、元トヨタファイナンシャルサービス(株)代表取締役社長
元松下電器産業(株)(現パナソニック(株)) 取締役副社長(CFO)
トヨタファイナンシャルサービス(株)取締役副社長、 前日本銀行理事(国際金融担当)
西村あさひ法律事務所 パートナー

Simon Wong

元Transpac Capital Ltd(アジアで最も歴史のある最大級のPEファームのひとつ)の共同設立者。元 香港ベンチャーキャピタル協会会長。中国最大のECサイトである、「Alibaba.com」へ、ベンチャーキャピタルとして創業直後から、資金及び支援を行ってきたことで知られており、高いファンド・パフォーマンスを実現。東アジア・米国を中心に200社を超える先に投資を行い、約60社程度をIPOまで導いた。

Shi Dinghuan
Dr.Xie Ming Quan
Frunk Liu

中国国务院、科学技術部の元幹事長、中国技術諮問委員会 会長等を歴任
広東省ハイテク企業協会理事。Huawei Technology Co.Ltd 社外取締役
TranspacCapital創業者。台湾のパソコンメーカーである「Acer」への投資実績

お問合せは

株式会社アドバンスト・メディア

経営管理部 総務企画グループまで

TEL : 03-5958-1031

FAX : 03-5958-1032

音声認識技術

= キーボードやマウスの代替

スマホなど高機能端末の急速な普及

音声認識技術

= (単なるユーザーインターフェイスではなく)
音声という情報をデータ化するチャンネル
(⇒ソフトコミュニケーション)

このパラダイムシフトにチャレンジしている企業

アップルやグーグルなど
(限られた先進的グローバル企業)



AMI



グローバルな活動を通してこのパラダイムシフトを実現

音声認識技術が単なるUIを超えていくために

1. 高精度な音声認識技術の実現
2. 多様なアプリケーション開発を可能にする周辺技術開発
3. 多言語での音声認識技術の実現



4. 事業として成功させ、ユーザーに絶対的な認知を与え文化を創る



多額の投資が必要

第15期	第16期	第17期	第18期	第19期
Amivoice® を利用した新しい価値 ➤ 創造のためのチャレンジと課題の明確化				
		課題解決のための各種取り組み ➤ 必要な資金の調達 ➤ 積極的な研究開発投資 ➤ アグレッシブな協業先発掘活動		

前記パラダイムシフトをビジネスとして成功させた企業はまだ存在しない。

アジアを拠点に当社を中心とした新たなネットワークの創造にチャレンジし、デファクトスタンダードを勝ち取る

